

研究・調査報告書

| | | |
|--|--------|---------------------|
| 分類番号 | 報告書番号 | 担当 |
| A-550 | 15-094 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 |
| 題名 (原題/訳) | | |
| <p>Frequency of progression from acute to chronic pancreatitis and risk factors: a meta-analysis. 急性膵炎から慢性膵炎への移行頻度と危険因子の調査：メタアナリシス</p> | | |
| 執筆者 | | |
| Sankaran SJ, Xiao AY, Wu LM, Windsor JA, Forsmark CE, Petrov MS. | | |
| 掲載誌 | | |
| Gastroenterology. 2015 Nov;149(6):1490-1500.e1. doi: 10.1053/j.gastro.2015.07.066. | | |
| キーワード | | PMID |
| 自然経過、膵疾患、有病率、 システマティックレビュー | | 26299411 |
| 要 旨 | | |
| 背景： | | |
| <p>急性膵炎と慢性膵炎は別の疾患である考えられてきたが、急性膵炎は慢性膵炎に移行しうるということがわかってきた。この機序は良くわかっていない。我々は急性膵炎から慢性膵炎に移行する頻度と、この移行における危険因子を調べる目的でメタアナリシス研究を行った。</p> | | |
| 方法： | | |
| <p>PubMed、Scopus、Embase を用いて急性膵炎から慢性膵炎に移行したという研究報告(1966年～2014年11月)を調べた。統合データを用いて有病率と95%信頼区間を算出し、感度分析・サブグループ解析・メタ回帰分析を行った。</p> | | |
| 結果： | | |
| <p>14 研究からの 8,492 人の急性膵炎患者を分析した。再発性急性膵炎の有病率は 22%(95%信頼区間、18-26%)で、慢性膵炎の有病率は 10%(95%信頼区間、6-15%)だった。感度分析は、慢性膵炎の有病率は初回膵炎発症後の患者で 10%(95%信頼区間、4-19%)、急性膵炎再発後の患者で 36%(95%信頼区間、20-53%)だった。サブグループ解析では飲酒と喫煙は慢性膵炎に寄与する最大の危険因子であり、飲酒者と喫煙者それぞれの有病率は 65%(95%信頼区間、48-56%)、61%(95%信頼区間、47-73%)だった。メタ回帰分析では女性より男性のほうが急性膵炎から慢性膵炎に移行することが多かった。</p> | | |
| 結論： | | |
| <p>初回急性膵炎患者の 10%、再発急性膵炎患者の 36%は慢性膵炎に移行し、このリスクは喫煙・飲酒・男性で高い。膵炎の自然経過の調査には大規模前向き臨床研究が必要である。</p> | | |